



福島林業

No. **592**

題字 福島県知事 佐藤雄平



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.



12 2013

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■初雪の巨木場



「学校林等活動について」

第64回福島県学校関係緑化コンクール
学校林等活動の部（小学校）

福島県知事賞 受賞 いわき市立田人第二小学校
福島民報社長賞

春にはカタクリの花が咲き誇り、夏には学校のそばを流れる川にヤマメが泳ぎ、秋には大きな栗やアケビを通学路のあちらこちらで発見、そして冬には降り積もった雪の中から人の顔をした植物の芽を見つけて楽しむことができるそんな自然の宝庫、これが私たちの田人第二小学校がある地域です。

これまで子ども達は、四季の移ろいを体全体で感じることができるよう、それぞれに見出した課題を追究していくことができるようにと、「いわきの森に親しむ会」と「田人環境資源を生かす会」の皆様方のご支援をいただきながら学校林学習を進めてきました。何よりも子ども達の学びを優先してサポートに徹してくださいましたことにより、子ども達が知りたい、調べたい欲求を十分に満たすことができました。深く感謝いたします。

また、地元の田人材生産組合の皆様には、毎年木工教室を開催いただき子ども達に森の大切さや樹木とふれあう機会を作っていただきました。本当にお世話になりました。

そして、今年度は卒業生達にもお手伝いいただき、学校林の「守り神」を創ることができました。構想から制作まで子ども達のアイデアを最大限に引き出していただき、すてきな思い出づくりができました。学校林に設置した守り神は、子ども達のかわりにずつと学校林を見守ってくれることでしょうか。ありがとうございます。

さらには、木造校舎にふさわしい花壇をと子ども達や地域の方々と一緒に心を込めて育てた花が咲き誇り、観るたびに癒される日々でした。きっと学校も喜んでくれたことでしょう。

実は、創立五〇年目を迎える今年度で田人第二小学校は閉校することになったのです。

この学校関係緑化コンクールに応募したのも、地域の豊かな自然と地域の温かい先輩達、そしてどっしりと安心感のある地元材の木造校舎に支えられて毎日の学校生活を精一杯送っている子ども達がいるということも多くの方々を紹介したかったからです。その上、県知事賞をはじめ大きな賞を三つも頂き子ども達にとって大きな自信になりました。

田人第二小学校で過ごした日々、たくさんの方々を支えられた学校生活がきつとこれからも子ども達を励ましてくれることを信じています。本当にありがとうございました。



《も く じ》

とびら		
「学校林等活動について」		県知事賞を受賞して／「平成25年度東北
いわき市立田人第二小学校……………	1	ブロック林材業安全管理推進会議」開催…
「美しい花で、笑顔いっぱい」		「木(森)に由来する伝統文化継承イベント」
伊達市立富成小学校……………	2	を開催しました……………
「永井中の学校緑化」		普及指導員通信……………
いわき市立永井中学校……………	3	苗協メモ……………
平成25年度うつくしま21森林づくり		木連だより……………
活動発表交流会開催される……………	4	木材市況・ふくしま東西南北……………
平成25年度東北・北海道地区		はなしのひろば……………
緑化推進協議会の総会について……………	5	



「美しい花で、笑顔いっぱい」

第64回福島県学校関係緑化コンクール 学校環境緑化の部（小学校）

福島県知事賞 受賞 伊達市立富成小学校
福島民友新聞社長賞

二〇一一年三月十一日、東日本大震災により、数多くのものを失い、今までの生活が一変してしまいました。

本校では、震災前から学校緑化運動に取り組み、校舎周辺はもろろんのこと、県道を通る人にも、心がほっとし、安全な運転に心がけていただけよう沿道にも育てた花を植えてきました。ところが震災で原発が損壊し、放射線が拡散したことによって屋外での活動ができなくなったのです。それから一年、二年と過ぎ、除染も進み、次第にもとの学校に戻りつつありました。その中で、「富成小学校らしさ」って何だろうと改めて考えた時に、「花で笑顔いっぱい」という答えが出てきました。学校緑化運動に取り組むことは、思った以上に大変でした。まずは、環境を整えるために土を入れ替えなければなりません。放射線量が高い地域でしたので、今までの土を使用することはできず、新たに購入する必要があります。幸い、市の協力もあり土を確保することができました。その次に大きな問題となったのは、子どもたちを屋外で活動させることが難しかったことです。放射線の影響を考え、外での活動制限があったので、以前のような緑化活動はできない状態でした。

今年度になり、子どもたちの育ててきた花があちこちで地域を明るくさせています。県道のここに花壇では、パンジーやビオラなどが桜の香り匂う春を彩りました。夏には、校舎周辺に市からいただいたマリーゴールドやサルビア、そして自分たちで育てたジニアやアゲラタム、朝顔の緑のカーテンなど美しく咲きほこった花壇でお客様を迎えることができました。特に、学年の花壇では、自分たちで考えたガーデンデザインをもとに、花を植えていきました。また、一人一鉢運動を実施し、自分で育てた花を家に持ち帰ったり、学年で育てた花を地域の商店や幼稚園、郵便局等に届けたりしました。地域を明るく元気にさせることができたのは、とても大きな収穫でした。さらに、緑の少年団で森林の大切さを学び、ホタルの清流を守ろうとホタルの幼虫を放流したり、富成ブランドである桃栽培に年間を通して関わらせていただいたりして、もとの自然豊かな富成に戻そうと取り組んできました。

今年で一四〇周年を迎える記念すべき年に、本校が「県知事賞」をいただくことができたのは、県北農林事務所をはじめ、数多くの皆様のご支援やご協力があったからこそと思います。今後もこの荣誉に恥じないよう、さらに精進し、地域のシンボルである「花いっぱい」の富成小学校」として、笑顔と元気を発信していきたいと思えます。



地域に花をプレゼント



「永井中の学校緑化」

第64回福島県学校関係緑化コンクール
学校環境緑化の部（中学校）

福島県知事賞 受賞 いわき市立永井中学校
福島民友新聞社長賞

チューリップ、スイセン、パンジー、ポピー、アスター、ホウセンカ、サルビア、マリーゴールド。これは、永井中学校で育てている花です。他にも、学校畑では、ズッキーニ、長ネギ、白菜、ジャガイモなどが、七月から八月にかけて収穫されました。また、校地内には、ケヤキやツツジ、サクラ、ツゲ、ナツツバキなど樹木も数多く植えられています。これらの樹木には、手づくりの「樹名板」がついており、生徒は樹木に親しみ、名前を覚えていきます。

しかし、これらの木々や花々が、こうして美しく咲くことができるのは、日々の手入れがあるからです。水やり、除草作業、花摘み、そば栽培、毎日の生徒の活動の他PTA奉仕作業など、用務員さんをはじめ、地域の方々の大きな協力があります。

本校の朝は、植物の「水やり」からスタートします。委員会の生徒が、暑さや寒さに負けることなく、毎日欠かさず行います。玄関前のプランター、校舎前の花壇、校庭奥、校門の坂下の花壇。計四箇所を短時間で終わらせるのです。この仕事は大変重要で、夏休みも全校生で取り組んでいます。

本校はこれまで授業や教育活動を通して、様々な緑化活動に取り組んできました。震災以前は、「しいたけ栽培」や「炭焼き体験」を行ってきました。「しいたけ栽培」では、生徒が原木に菌を打ち、大きくなるまで校地内で育てます。また、「炭焼き体験」では、地域の方を講師に招いて、土地をお借りしながら木炭を作りました。震災後は、残念ながら実施できていませんが、代わって、内郷の弥勒沢散策をしながら、常盤炭田の歴史を知る学習をしています。生きた化石とも言われるメタセコイアの原生林が繁るいわき、木を活用した本棚や看板などの制作も行っています。

生徒たちには、日々花や植物の手入れをすることで、自然を慈しむ心や、相手への思いをやる心が育っています。また、花が咲いた時の喜びや種や野菜の収穫から達成感や満足感を味わっています。

「花咲くことを疑わず、信じて育てる」という本校の教育理念を柱に、生徒、教職員、保護者、地域の方々とともに、この「学校緑化活動」を続けていきたいと思っています。永井の地域が、学校を中心に花があふれる地域になりますように。



夏の花壇への準備～球根取り～

「平成25年度うつくしま21 森林づくり活動発表交流会開催される」

〓うつくしま21森林づくりネットワーク〓

うつくしま21森林づくりネットワーク(渡邊二夫会長)が主催し、ネットワーク会員の「森林においてよ」県北ネットワーク21が開催担当した「平成25年度うつくしま21森林づくり活動発表交流会」が、十一月三日(日)に安達郡大玉村にある「ふくしま県民の森フォレストパークあだたら」レクチャールホールにおいて開催されました。

うつくしま21森林づくりネットワークは、県民ひとり一人が森林に親しみ、守り育てる心を共有しながら、「森林と人との共生」の実現を図るため、県民参加による森林づくり運動を積極的に推進することを目的に設立され、現在はNPO法人を含む森林ボランティア十四団体が所属し、県内各地方で独自の活動を展開しております。交流会開催当日は、県内各地で活動している会員を中心に四十一名が参加し、各団体から発表される活動報告を聞き、活動を進めて行く上での課題や今後の活動方針等について話し合い、情報や意見の交換を行いました。

また、午後からは講師にお迎えした福島県森林保全課主任主査の鈴木比良さんから、「ふくしま県民の森の森林除染について」と題し講演をして頂き、資料やデータ等を用いて森林における放射性物質の動態及び変化等について詳しくお聞きすることができました。

休憩を挟んだ後半は、参加者全員で外へ出て県民の森敷地内のフォレストセラピーコースと除染済み土砂の仮置

き場の二箇所を訪れ、鈴木さんから線量測定器(サーベイメーター)の扱い方の説明を受けた後、参加者が実際に測定器を使用し、放射線量の計測を実施しました。尚、活動報告を発表して頂いたボランティア団体とその発表要旨は次の通りです。

①『原発事故後の「女神山を愛する会」の取り組みについて』

女神山を愛する会 氏家 武氏
「女神山を愛する会」では、女神山の素晴らしい自然を守り続け、そのままの形で次世代へ引き継ぐことを目的に活動している。東日本大震災による原発事故発生後に中断されていた女神山への登山(山開き)再開準備(登山道の整備等)や自然保護の為の掲示板設置活動を実施し、また野外活動が難しい状況下にある子供達のために自然観察や木工クラフト等の自然体験学習への協力も積極的に実施しているとの発表があった。

②『津波被災海岸林再生整備の取り組みについて』

NPO法人 いわきの森に親しむ会 松崎 和敬氏
東日本大震災のときに、いわき市の海岸の松林が防災林としての機能を果たし大津波に効果を発揮したが、それに伴い松林も大きな被害を被り、現在も倒木や枯れが広範囲に広がっている。そのため「いわきの

森に親しむ会」では、関係機関等と相談、協力し二〇一二年度からいわき市の海岸林再生整備作業に取り組み、現在も継続して活動していること、及び今後の作業予定と課題について発表があった。

③『地域世代間交流による緑化事業への取り組みについて』

県南、「木もれび倶楽部」 山本 光子氏
シニア世代から若い小中高生及び障がい者や不登校児などと幅広く世代間交流を図りながら、各個人のコミュニケーション能力の向上を目指しています。その仲間たちと地域社会の活性化やみどり環境保全の推進などに積極的に関わり、自然とのふれあいを通して元気のある街づくりの支援活動を実施しているとの発表があった。

④『これからの森林づくりについて』

NPO法人 ふるさと森林の会 渡邊 一夫氏
NPO法人ふるさと森林の会の渡邊氏からは、福島県のこれからの森林づくりについて提言があり、NPO法人として今まで取り組んできた事例の発表とこれからの取り組みについての意見、提言があった。

持ち時間が質疑応答を含め約十五分と限られた時間の中で各発表ともA V機器等を活用し映像を



渡邊会長挨拶



現地見学会

見せながら解りやすい発表となりました。尚、うつくしま21森林づくりネットワーク会長でもある渡邊一夫氏が、長年に渡り取り組んできた林業への功績が認められ、今回の秋の叙勲で旭日章を受賞されたことを出席者の皆様にお伝えし、同じ森林づくりに携わる仲間として受賞の喜びを一緒に分かち合うことが出来ました。

また今回は、主催団体である「森林においてよ」県北ネットワーク21に所属している「蓬莱里山ふれんず」の皆さんのご協力により、昼食時に美味しい芋煮汁を参加者の皆さんに提供することができ、その芋煮汁を食しながら和やかに歓談してもらいました。その後、参加者一人ひとりに自己紹介も含め現在携わっている活動内容や今後の取り組み等について語っていただき、場を設けることができ、参加者同士の交流を深めるとても有意義な発表交流会となりました。最後に、森林づくりネットワーク事務局を、今年度から「公益財団法人フォレスト・エコ・ライフ財団」が担当することになりましたので、よろしくお願いたします。

平成25年度 東北・北海道地区緑化推進協議会の総会について

福島県緑化推進委員会

■協議会総会

平成25年10月23日（水）、青森市内において各道県の緑化推進委員会が一堂に会して効果的な緑化運動の展開推進方策を考究するとともに、連絡調整や情報の交換を行うことを目的に「平成25年度東北・北海道地区緑化推進協議会の総会」が開催されました。



緑化推進協議会の総会

■緑化功労者の表彰

総会の席上、永年緑化活動に取り組んできた功労者に対する表彰式が行われ、本県の「美しい背あぶりの森をつくる会」を始めとする5団体と北海道紋別市の佐藤教誘様を始めとする3名に（公社）国土緑化推進機構理事長感謝状と「東北・北海道地区緑化推進協議会長賞」が授与されました。

「美しい背あぶりの森をつくる会」は、会津若松市背あぶり山において遊歩道の整備や植物園の管理を行うとともに、平成14年10月には借り受けた国有林を「悠々の森」として植樹し継続して管理するなど永年地域の緑化活動に取り組んできた功績が認められました。

■意見交換会

緑の募金の取り組み状況や緑化事業などの進め方などについて意見交換を行ったところであり、東日本大震災復興支援関連の募金が伸びた反面、家庭募金などが低調であることや被災市町村では、復旧・復興対策で手一杯の状況にあり緑化活動まで手が回らない状況にあることなどが報告されました。

本県は、津波被害に加えて原子力発電所事故に伴う放射能汚染により緑化活動や森林に親しむ活動に大きな影響を与えていますが、平成30年の全国植樹祭の開催に向けて、県民の緑化活動の拡大・浸透を図っていく大切な時期でもあることから、企業募金の強化や基金事業の検討など様々な取り組みの必要性について報告しました。

■天皇陛下御下賜金による記念植樹について

今年傘寿をお迎えになる天皇陛下は、美智子妃殿下と結婚なされてから54年となり、来年はエメラルド婚をお迎えになります。たいへんおめでたい年でありますので、北国の厳しい風雪に耐えうる陛下のお印である「榮（アオギリ）」と妃殿下のお印である「白樺」を対にして、東津軽郡蓬田村の玉松台運動公園内に植栽しました。



「榮」と「白樺」の植樹

■現地研修 特別史跡三内丸山遺跡

三内丸山遺跡は、狩猟・採集・漁労を生業の基盤として定住を達成し長期間継続した大規模集落跡であり、日本の縄文時代観にも大きな影響を与えた我が国を代表する縄文文化の遺跡であります。

この時代は、針葉樹の多い寒い時代だった以前とは異なり、クリやクルミなどの木の実は豊富な広葉樹が旺盛となり、世界的にも希な生物多様性に恵まれた生態系に適応し、自然との共生のもと森の恵みを楽しみながら持続可能で協調的な社会をつくりあげています。

本県では、森林を有効に活用する技術や制度、山の神信仰や言い伝えを大切に生活のあり方をふくしまの森林文化であるとして「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を制定し、森林づくりに取り組んでいるところであり、遺跡の中にいると改めて縄文の人たちの森の恵みに感謝する気持ちが伝わってきました。



特別史跡三内丸山遺跡



第10回ふくしま森林・林業写真コンクールで 県知事賞を受賞された小林正義様からコメントを頂きました



県知事賞を受賞して

この度は県知事賞と言う大層な賞を頂き、有り難うございました。

御通知を頂いたときは私のがと、只驚きでした。

去年の林業祭りでチェーンソーアートが行われるとの事で家族で行き、その時撮った写真です。

コンテストに出そうとは思ってませんでした。

後で思うと何故肝心な所へ鉄パイプを入れてしまったのかと反省しきり。

定年退職し何か趣味でもと写真を始めました。

当たり前ですが中々上達しません。パソコンを駆使し写真作りをして居る先輩方々には、驚く事ばかりです。

今は指導を賜りながら楽しんでいきます。



野鳥を撮影する小林様

現在農業をしております。わずかですが山林も所有しており間伐枝打ちなどある程度はやっていますが、今ひとつ力が入りません。国内の木材の自給率は現在27.9%位と聞いています。外国の木材の方が安価と言う事が理由のひとつに有ると思うのですが、このままでは国内の森林が荒れるばかりです。林業祭りの展示会場では担当の職員さんの分かり易い説明を聞いて、福島県の豊かな森林を守って頂いて居る緑化協会の皆様方には感謝の限りです。

森林・林業写真コンクールに応募の皆様方も次回の作品作りに出かけて居る事と存じます。私もカメラをぶら下げて晩秋の野山にシャッターチャンスを探しに出かけます。

小林 正義

お知らせ

平成26年1月6日(月)～17日(金)の2週間、福島県庁2階の連絡通路に入賞作品15点を展示いたします。是非ご覧ください。

「平成25年度東北ブロック林材業安全管理推進会議」開催

福島県林業振興課 林材業労災防止協会福島県支部

去る9月30日、平成25年度東北ブロック林材業安全管理推進会議を、県内外から28名の参加を得て福島市のふくしま中町会館で開催しました。この会議は林業労働災害の撲滅や林業労働の就業改善を図ることを目的とし、東北各県の取組や課題等について意見交換を行い、効果的な対策及びその実施方法について検討・協議するものです。

当日は、福島労働局労働基準部泉川健康安全課長から「福島県の労働災害の動向について」の講演のほか、林野庁より経営課林業労働対策室進藤課長補佐、(独)勤労者退職金共済機構林業退職金共済事業本部島村経理課長から中央情勢報告をいただきました。

集まった東北各県の林業労働担当者、林材業労災防止協会各県支部からは、それぞれの各県の課題や取り組みについて報告があり、同じ課題を持つ各県から質問等熱心な討議が行われました。会場には本県ゼロ災推進福島県協議会員も出席し、林材業の安全推進のための各県の取組を参考にしておりました。

「ゼロ災で行こう!」「ヨシ!」来年の開催は青森県です。



福島労働局労働基準部
泉川健康安全課長から講演



各県からの報告

「木(森)に由来する伝統文化継承イベント」を開催しました

福島県林業振興課

平成25年度森林環境基金を活用した「木(森)に由来する伝統文化継承イベント」を11月16日(土)、三島町において「未来につなごう！会津桐」をテーマに開催しました。

今回、伝統文化継承の題材として選定した「桐」は、「女の子が生まれたら桐を3本植えよ」という有名な諺があるとおり生長が早いと、女の子が嫁ぐころにその木を切って、嫁入り道具の桐箆笛をつくると言う習慣があり、かつては女の子がいる家の庭先には桐がよく植えてありましたが、今ではそのような光景も少なくなっています。

桐材の生産量は、福島県が平成24年も全国1位を誇っていますが、昭和46年の7,338㎡をピークに平成14年には1,000㎡を割り込み、年々生産量は減少しております。

しかし、箆笛、琴、下駄の世界では、桐はなくてはならない存在で、中でも会津地方で生産される会津桐は材質が緻密で、適度な硬さと光沢があり、また、年輪は傍目にもわかりやすく、薄くなった部分も割れることは稀で、国内でも極めて高い評価を受けています。

開催地の三島町は、日本一の桐の里を目指した桐苗木植栽の推進や、ものづくりの生活工芸運動など会津桐文化の継承に取り組んでいます。この三島町において、桐苗木植栽と桐下駄作製の体験活動を通して、桐に由来する伝統文化に直接触れ、その良さ、大切さを感じていただくことを目的として開催しました。

イベント当日は、三島町町民センター前に集合し、松房県林業振興課長、二瓶三島町長のあいさつの後、マイクロバスで三島町大石田地区の桐苗木栽培箇所へ移動しました。最初に桐栽培に造詣の深い貝沼静男氏、物江浩二氏から桐栽培全般及び苗木植栽の注意点の説明を受けた後、参加者は指定された箇所へ思い思いに植栽体験に取り組みました。現地は、数日前の雪が少し残っていましたが、天候も穏やかで、清々しい山の空気を吸いながら心地よい作業となりました。

三島町町民センターに戻り、暖かいきのこ汁の昼食を済ませ、午後の部では、二瓶幸子氏の指導のもと、桐下駄の鼻緒付け体験を行いました。男性用、女性用、子供用の下駄とカラフルな鼻緒が準備され、下駄と好みの鼻緒を選んで作業開始です。講師の説明を受けながらの作業ですが、鼻緒付けは想像以上に難しく参加者は皆大苦戦です。それでも講師の粘り強い指導と参加者同士の助け合いにより、予定時間をオーバーしたものの大部分の参加者は完成することができました。

イベント終了時には拍手が起こり、参加者の皆様には、桐への想いを深めた充実した楽しい一日になったことと思います。



桐苗木植栽終了後、全員で記念撮影



二瓶先生の指導による桐下駄鼻緒付け

森林再生に関する取り組み事例

～平成24年度ふくしま森林再生加速化事業の実施～

■ 県中農林事務所

林業普及指導員 吉成吉美

東日本大震災に起因する東京電力福島第一原子力発電所の事故の発生により、福島県内の森林は放射性物質に汚染されました。このため、本県の森林再生を進めるため、間伐等の森林施業と路網整備を一体的に実施することによる放射性物質の動向を調査し、実証していく事業に取り組みました。

1. 取り組み内容

(1) 林業的手法による施業と放射性物質の除去を一体的に実施

モデル1（主に針葉樹人工林）：田村市常葉町西向字小屋畑地区（整備面積 21.09ha）

整備内容：1 間伐 14.08ha、2 更新伐 6.28ha、3 植栽工(スギ) 4.68ha、4 路網整備 7,745m（路網密度367m/ha）



モデル2（主に広葉樹人工林）：田村市都路町古道字山口地区（整備面積 27.99ha）

整備内容：1 間伐5.80ha、2 更新伐22.19ha、3 植栽工(コナラ) 11.72ha、4 落葉等除去10.47ha、5 路網整備12,542m（路網密度448m/ha）



(2) 森林内の放射性物質の状況調査と解析

① 森林整備実施前後と森林整備実施1ヶ月後に、空間放射線量率の測定（地上1m）を行いました。

② 落葉、土壌、木材（辺材・心材）に含まれる放射性物質の濃度等について、調査を行いました。

2. 取り組みの成果

(1) 林業的手法による施業

材価の低下傾向が続いていることに加え、原発事故の影響により伐採が控えられていたことから、森林の多面的機能の低下が懸念されますが、放射性物質の汚染度合を確認しながら木材の生産・販売を行うことで、消費者の安心が得られると同時に、森林所有者にとっても収入が期待できることが実証されました。

【販売数量等】 モデル1：用材2,166㎡、針葉樹チップ865㎡、広葉樹チップ539㎡

モデル2：用材 680㎡、針葉樹チップ931㎡、広葉樹チップ773㎡

(2) 森林内の放射性物質の状況調査と解析

① 空間放射線量率の測定を行ったところ、森林施業前後での放射性物質の数値は、2.5～16.3%（自然減衰率を除く）低減し、施業による効果が確認されました。

② 落葉、土壌、木材（辺材・心材）に含まれる放射性物質の濃度の調査により、落葉14,000～240,000Bq/kg、土壌120～19,000Bq/kg、木材（心材）15～280Bq/kg、（辺材）15～190Bq/kgなどの状況が確認されました。

■ 今後の展望

- 森林整備により、健全な森林を育成することで、森林の持つ多面的機能の発揮が期待できます。また、放射性物質の低減に一定の効果が期待できます。
- 樹木の内部（辺材・心材）の放射性物質濃度は最大でも280Bq/kgと木材の生産・販売に問題ない範囲（林野庁試算：414Bq/kgの木材で六面を囲った部屋で過ごした場合の被ばく量は、0.0017μSv/h）であり、収穫による収入が期待できます。
- これらを踏まえ、平成25年度より福島県及び市町村等による“ふくしま森林再生事業”が実施されます。森林の多面的機能の回復を主目的とした、森林整備を推進することが、林業振興に与える効果も大いに期待されます。

苗協メモ

エリートツリーで 福島のエ業再生を

関東森林管理局
福島森林管理署長

富永 茂



福島県農林種苗農業協同組合

一 エリートツリーの誕生

福島県の水稲「天のつぶ」、桃の「あかつき」、競走馬の「グリーングラス」…。これらの共通項は何でしょうか？これらはいずれも優れた性能をもつもの同士を交配し、新しい品種として開発されたものです。（競走馬は品種とは言いませんが…）要するに、交配によって、より性能（品質）のよいものとして作り出されたものです。

実は、林業においてもすでに五〇年前から新しい品種の開発に取り組んでいます。成長が早いこと、単位面積当たりの収穫量が多いこと、樹幹がまっすぐなこと、等を目標に選抜された精英樹は九、〇〇〇本を超え、これらを母材に全国に採種園が整備され、そこから採られた種子で育てられた苗木が全国の山林に植え

られています。現在植林されている苗木は、この第一世代精英樹の子供です。

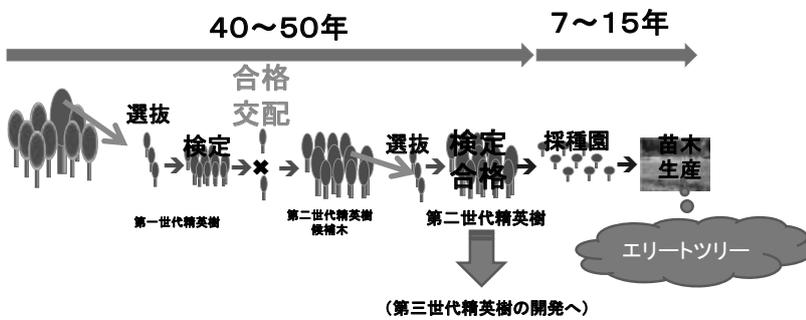
同時に、この第一世代精英樹の中から成長等の特に優れた特性を評価し交配親を選択して、約九、一〇〇組み合わせにも及ぶ人工交配を行い、二二万個体の第二世代の精英樹候補木群を生育してきました。エリートツリーは、この中から選抜されるもので、現在、それを選抜する時期に来ているのです。（図1）

二 エリートツリーの具体像

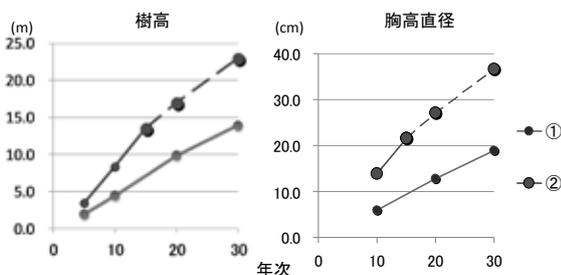
エリートツリーは、このように品質の優れた精英樹同士を交配した第二世代精英樹候補木の中から、成長量、材質（剛性等、幹の通直性）及び雄花着花性を調査し、基準を満たす母樹（特定母樹）から採られた種苗（又は穂）です。

その母樹は、①成長量は在来系統の単木材積の概ね一・五倍以上であること、②剛性等は、同様の林分の個体の平均値と比較して優れていること、③幹の通直性は、曲がりがないか、若しくは曲がりがあっても採材に支障のないもの、④雄花着花性は、一般的なスギの花粉量の概ね半分以下となること、などの条件から選抜されたものです。

このような母樹から得られたエ



(図1) エリートツリーが出来るまで



①第一世代精英樹
②第二世代精英樹候補
→(15年次で30年次の成長を示している)

(図2) エリートツリーの能力

三 成長(年輪幅)と強度との 関係

一般的に成長が優れている木材は年輪幅が広く、強度的に大丈夫なのか、と不安が生じます。結論的には、成長と剛性との間には相関関係は認められず、年輪幅が広いから

リートツリーは、第一世代に比べて成長や材質等が飛躍的に良好で、特に初期成長に優れ、十五年次で三〇年次の成長を示すものもあります。（図2）

県内においても選抜が進んでおり、もうじき福島県産の第二世代精英樹が登場します。（写真1）

といって強度が弱いということはないと言うことです。

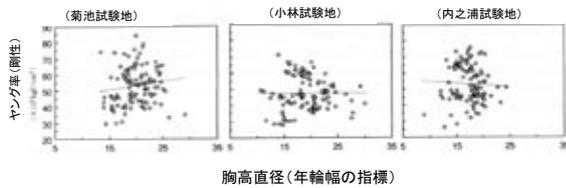
これは木材を構成する細胞(仮導管)のマイクロファイブール傾角の傾きが小さいほど剛性が強まることが明らかになっていて、スギはその傾向が強いのです。さらにこの性質は遺伝することがわかっています。先に述べた剛性の評価は、ファ Copp (FAKOPP) という器械を使って立木の状態で測定し剛性を確認します。このようにして成長が良く、剛性の確かなものが選抜されているのです。(図3)

四 林業への適用

現在、材価が低迷していることに



(写真1) 第二世代精英樹候補木



・スギのヤング率(剛性)は年輪幅と関係が無い



(図3) 成長が早くとも、材質は劣らない

加え、伐採しても植林、保育に係る初期投資が負担となって再造林が困難になっていきます。つまり林業は産業として成立していかないのです。

エリートツリーの最大の利点は、初期成長に優れていることで、最も経費のかかる下刈り回数を減らすことが出来るほか、コンテナ苗化することで植栽時期の幅が広がり、伐採後、地ごしらえと同時に(又は省略して)植栽可能となるなど、再造林の最大の課題である初期投資の負担を大きく軽減することが可能です。

木半作」という言葉があります。海外でも「最小のコストで最大の利益を上げられるのが育種苗である」と言われています。エリートツリーのような育種苗が評価されているのです。

五 地球温暖化対策への寄与

地球温暖化対策は第二約束期間に入り、森林は吸収源対策として大きな期待がかけられています。このため、先般の国会で間伐特措法が改正され、農林水産大臣が定めた基本方針において、間伐の促進を図るとともに、エリートツリー導入を図るため、その苗の確保に必要な特定母樹の増殖を推進することが明記されたほか、国有林及び水源林整備事業において造林する場合には、エリートツリーを用いるよう努めること、とされました。これを受け、今後、国有林においては、間伐の推進を図るとともに、次第に主伐にシフトし、エリートツリーを植栽して高齢化した人工林の若返りを促すこととしていきます。

○万鈔程度にすることとしています。当然、人工林(再造林)は、地味が良い成長に優れた搬出条件の良い場所に厳選されます。民家の近くにある里山人工林はこうした場所です。ここにエリートツリーを導入し、重点的に再造林を図るのです。伐採しても短期間で資源整備が進められるとともに、森林の更新は、空間放射線量の低減にも寄与します。

県では、原発事故により停滞した林業生産活動を甦らせるため、「ふくしま森林再生事業」に取り組みしており、間伐を積極的に行うための路網整備や高性能林業機械の導入など、林業生産基盤の整備を進めています。

この森林再生事業による生産基盤整備とエリートツリーの導入による森林資源整備を車の両輪にすれば福島県の林業を再生させることができるのではないのでしょうか。

セ 七おわり

六 エリートツリーで福島県の林業再生を

現行の全国森林計画では、一、○ ○万鈔の人工林を将来的には六○

このようにエリートツリーによる森林づくりは、地球温暖化対策に大きな役割が期待されているほか、短期間での森林資源の充実、空間放射線量の低減への寄与など、県内の林業生産活動を活性化させる起爆剤になり得ると確信しています。

木連だより

東京木材市場において
福島県産製材品の
安全性をPR



朝田会長挨拶



セリの様子

十月三日(木)新木場の東京木材市場で行われた全国優良木材展示会に合わせて福島県産木材復興支援市を併設していただき、福島県産製材品の安全性とブランド材「とつてお木」のPRを行いました。

記念式典では、朝田会長より「災害当初は風評被害により県産製材品の売上も大きく落ち込み、先行きへの不安もあったが、木材業界では出荷時の表面放射線量を測定・記録し、安全性を証明することにより県外へ

の出荷量も回復してきた」と報告し、「今後も優良で安心・安全な木材を提供できるように努めていく」と決意を述べ、セリ立会に入りました。

① 福島県内からの出品事業者と出品量

- ・協和木材 ・松栄商事 ・吉源木材
- ・佐川林業 ・マツダ製材

の五社から主にスギ羽柄・造作材と板材、総計約一〇〇立方メートルの出品がありました。

② 福島県産木材に対する反応等

- ・放射能に対する過度の反応はほとんどなく、福島県産木材に対し特別扱いすることはない様です。
- ・それよりは製品の見た目の良さ、(色つや等)に反応し、特にスギの場合には赤

味より白太の材に引き手がありませんでした。

③ その他

東京の買い手(小売店等)は、材を置く場所が限られていることから必要な材料だけを購入しており、今回のセリ売りにおいても全体的には積極的な買い注文は少なかったようでした。

福島県産材には、放射線量検査済と印刷したとつてお木シールを貼布し、安全性をPRしました。



県産ブランド材とつてお木

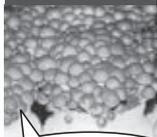


とつてお木シール

きのこで地域を元気に (公社)福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

- 菌床 ・シイタケ
- ・ハタケシメジ
- ・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(9月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8(8~8)	0	(0~0)	0	7(6~9)	0	8(6~9)	0
		10~13		並	スギ	10(9~11)	1	9(9~9)	0	9(7~10)	1	9(7~11)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	11(11~12)	0	11(11~11)	0	10(9~12)	0	11(9~12)	1
				並	ヒノキ	14(13~15)	0	(0~0)	0	15(13~16)	1	14(13~16)	0
		6.00	並	スギ	16(14~19)	0	14(8~20)	0	15(14~15)	0	15(8~20)	0	
			並	ヒノキ	26(24~28)	0	(0~0)	0	21(16~26)	0	23(16~28)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	13(11~13)	2	11(10~13)	0	10(9~12)	0	12(9~13)	1	
		4.00	並	アカマツ	10(8~13)	1	(0~0)	0	7(4~9)	0	9(4~13)	1	
		1.80	並		7(5~8)	1	(0~0)	0	5(3~8)	0	6(3~8)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	26(26~26)	0	(0~0)	0	26(24~28)	0	26(24~28)	0
並				米マツ	29(28~30)	△1	29(29~29)	3	30(29~31)	2	29(28~31)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27(25~28)	0	27(25~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32(28~35)	0	32(28~35)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	4(4~4)	0	(0~0)	0	3(3~3)	0	4(3~4)	0	
			並	広葉樹	4(4~4)	0	(0~0)	0	6(6~6)	0	5(4~6)	0	

八月の原木市場への入荷状況は、前月比二割増(前年比二割増)の一七、二〇一立方メートルとなっている。販売量については、前月とほぼ同じ(前年比同)の一八、〇一立方メートルとなっている。九月の価格については、スギを中心に強含みである。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

私は、日替わり弁当のおかず?に、三個いただきました。難しいことは分かりませんが、市外でも評判のメンチカツはとてもおいしいです。ちなみに、メンチカツ(長径一五センチ、厚三センチ)の重さを量ったところ、二二〇グラム/個ありました。東日本大震災以降、相双地方には多くの方が働きに来ています。風評被害を含む放射性物質の影響がある中、過酷な労働から心労を重ねるまで様々な仕事に従事されています。

特別な仕事の特別な「壁」を越えるとき、このメンチカツがありました。写真は、某農林事務所K課長が褒美に差し入れてくれた三〇個のメンチカツです。

私は、日替わり弁当のおかず?に、三個いただきました。難しいことは分かりませんが、市外でも評判のメンチカツはとてもおいしいです。ちなみに、メンチカツ(長径一五センチ、厚三センチ)の重さを量ったところ、二二〇グラム/個ありました。

「警戒区域に最も近い精肉店」として紹介された〇〇畜産直売店が、南相馬市にあります。この店で売っているメンチカツを、皆さんはご存じでしょうか?震災後、「最前線」と呼ばれる相双地方には、特別な仕事が続いてあります。



メンチカツを捧ぐ

相双農林事務所
森林林業部 福地雅弘

夕方、上記直売店を訪れた時、近所の方に混じって作業員らしき方が、メンチカツを買いに来ました。また、南相馬市の北隣、相馬市には、相馬牛ジューシーメンチカツ定食がお勧めの「食事処 〇〇や」があり、昼時になると作業服を着た人や家族連れなどで賑わっています。

皆さんも、風評等に惑わされず、皆さんも、復興の力となっているメンチカツを喰らい、「壁」の向こうへ進撃しませんか。

※〇〇畜産直売店のメンチカツは一個七五円です。

店でポイントカードを発行してもらいましたが、五〇〇円の購入でポイントのため、私はカードを職場の同僚に譲りました。



メンチカツ



年暮れる

十二月十三日は、正月始めといい、新しい年へ向けて準備を始める春支度ともいわれる。十二月に入ると「一年早いですね。」という決まり文句で会話が始まるし、月めくりのカレンダーには次にめくる月がない。わずかに残った今年の日々に、片付けたいことばかりが思い浮かび、毎年このことが焦る。が、焦りをよそに、時間はどんどん新しい年へ向かっていく。それから十日も過ぎれば「門松」が飾られる頃となる。

松は、「祀る」に通じ、生命力、不老長寿、繁栄の象徴とされている。山から松の木を取り「松迎え」をおこない、この松により山から「歳神様」を迎えることになるという。

この門松の中心となる竹だが、先端部分が斜めに切つてあるのは、徳川家康が武田信玄に対し「次は斬るぞ。」という念を込めたのが始まりという説がある。竹が大きな口を開け笑っているかのように見た私は「笑門来福」と解釈していたが、まさか戦がからんでいたとは…。竹は、笑つてはいなかったのだ。

しかし、歳神様も笑いの竹に気持ちよく迎えられたいのでないだろうか、と思つたりもする。門松が歳神様を迎える道標となり、注連縄は、歳神様を祭る場所を示すもので、神事と俗事を区切り、邪除けの意味をもつという。

また、新年に松を家に持ち帰る習慣は、平安時代に始まったといわれる。日本の古きよき習慣や祭りには、必ず神様とご先祖様の力が宿ると信じられていて、何とも慌ただしい歳の暮れだが、宿る力に感謝の気持ちだけは決して忘れない。

百八つの鐘をつきながら、煩惱を消していく除夜の鐘。新しい年を清浄に迎える厳かな音だ。どうぞ、心身の一新となる心穏やかな年越しでありますように。（都）

表紙の写真



「初雪の巨木場」

第10回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した武藤秀隆さん（須賀川市）の作品。

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業同組合
福島県農林業公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会

福島市中町五番一八号県林業会館内
相馬 雅俊

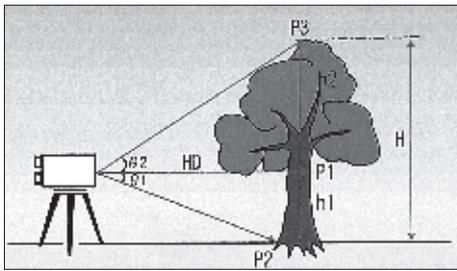
発行人 陽光社印刷株式会社

発行人

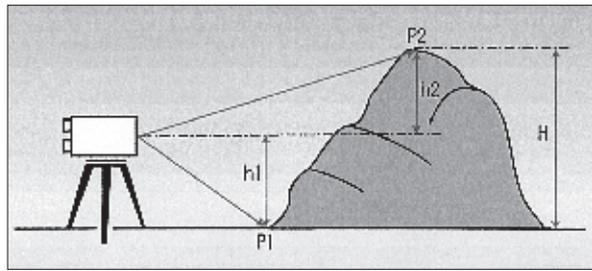
（定価 一〇五円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

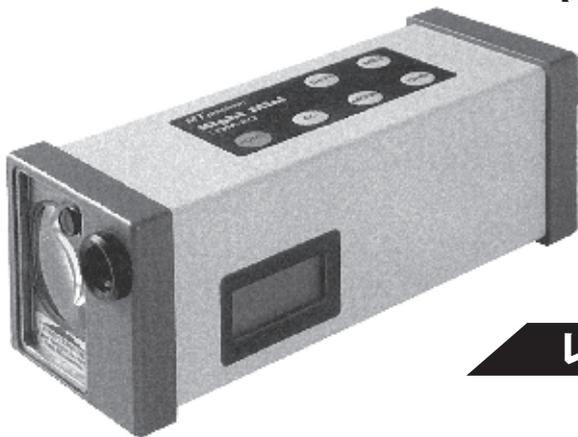


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



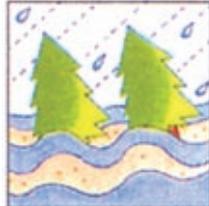
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



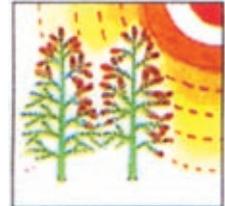
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



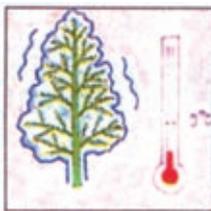
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL(巣退治)
ハチノックS(携帯用)

大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート(茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ

プロソー



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,543,750(税込)



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥113,400(税込)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥140,385(税込)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1